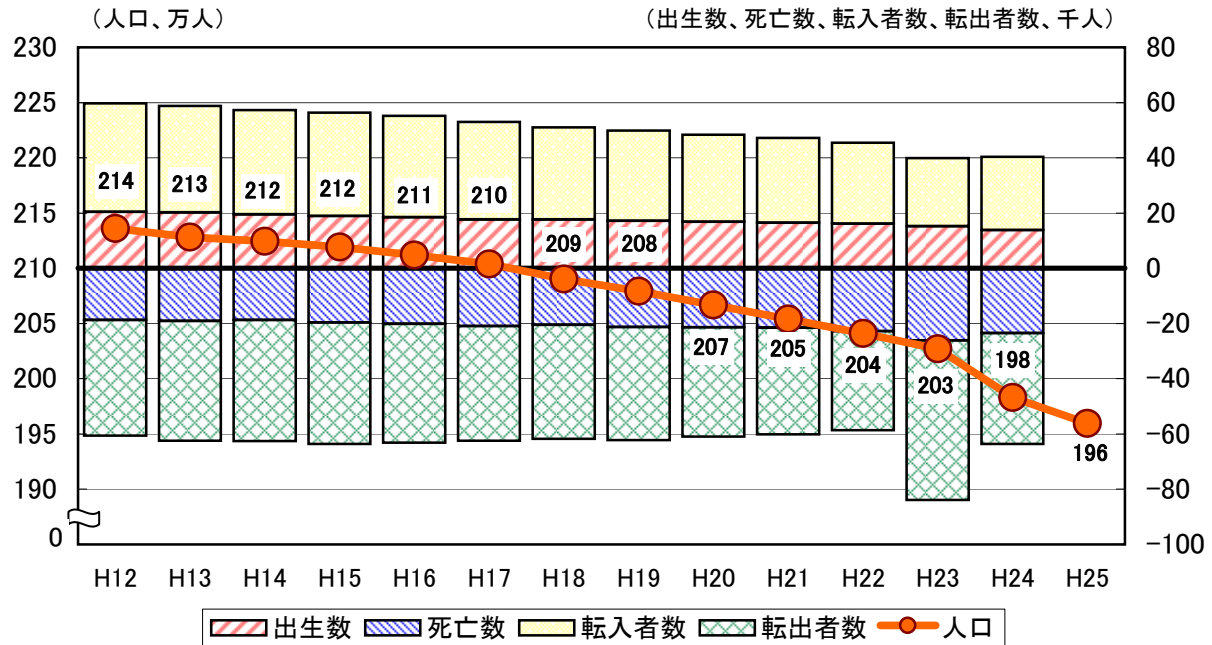


グラフでみる東日本大震災の影響 ～ 統計データからみる福島県の現状 ～

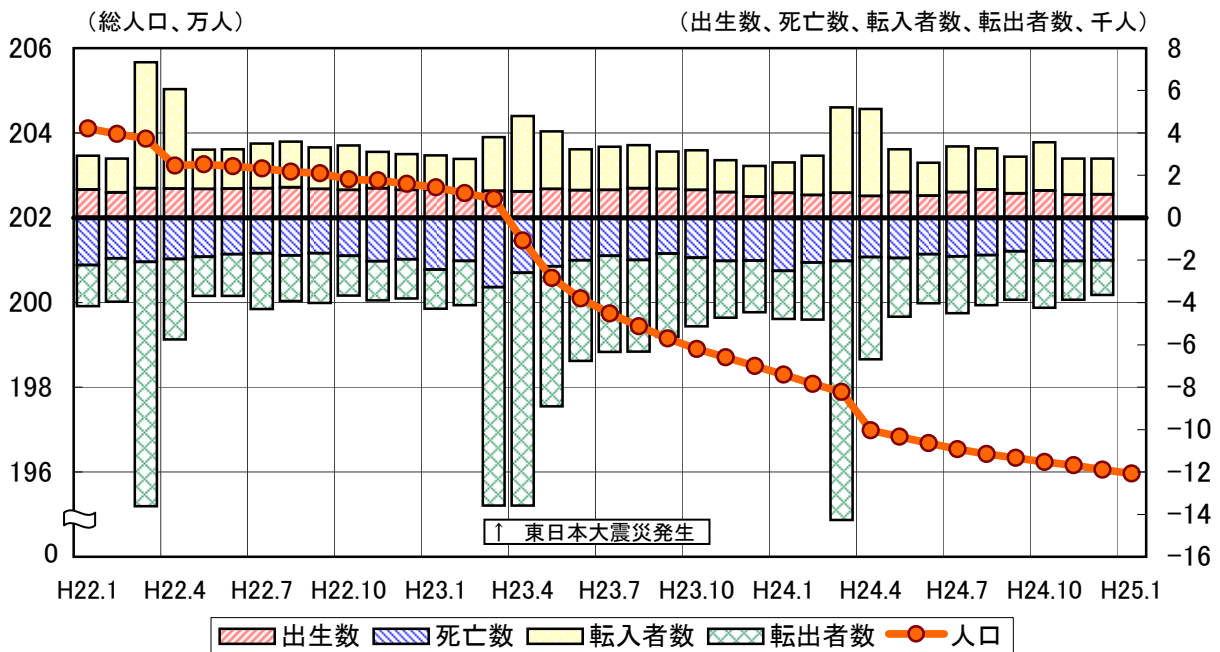
1 県人口の推移

(1) 県の人口(各年1月1日現在の推移)



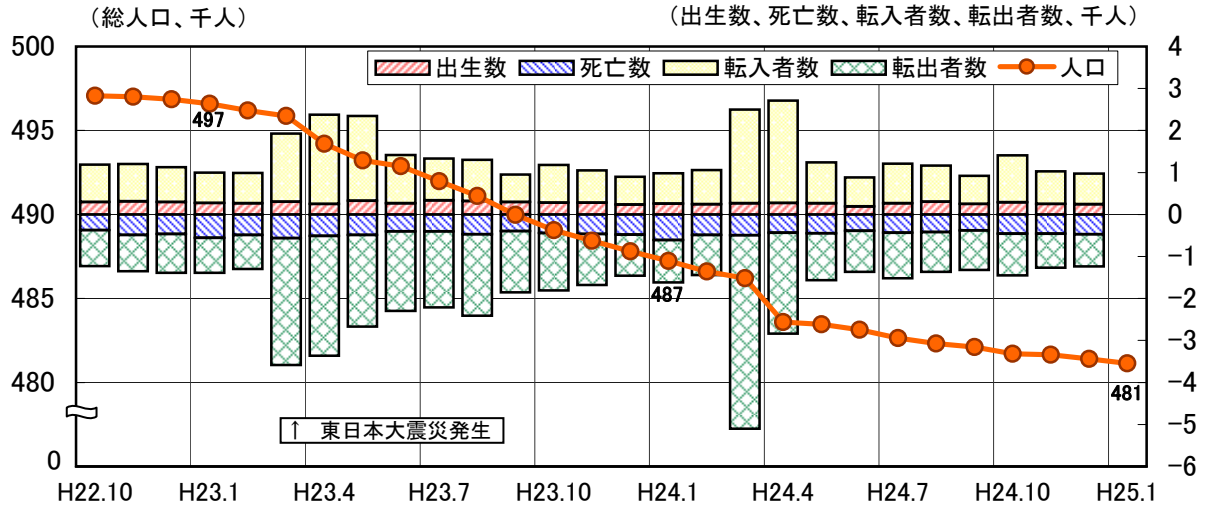
資料: 県統計課「福島県現住人口調査年報」、「福島県の推計人口(福島県現住人口調査結果)」
 ※人口は各年1月1日現在の人数
 ※出生数、死亡数、転入者数、転出者数は「当該年の1月1日から12月31日までの増減数」

(2) 県の人口(各月1日現在の推移)

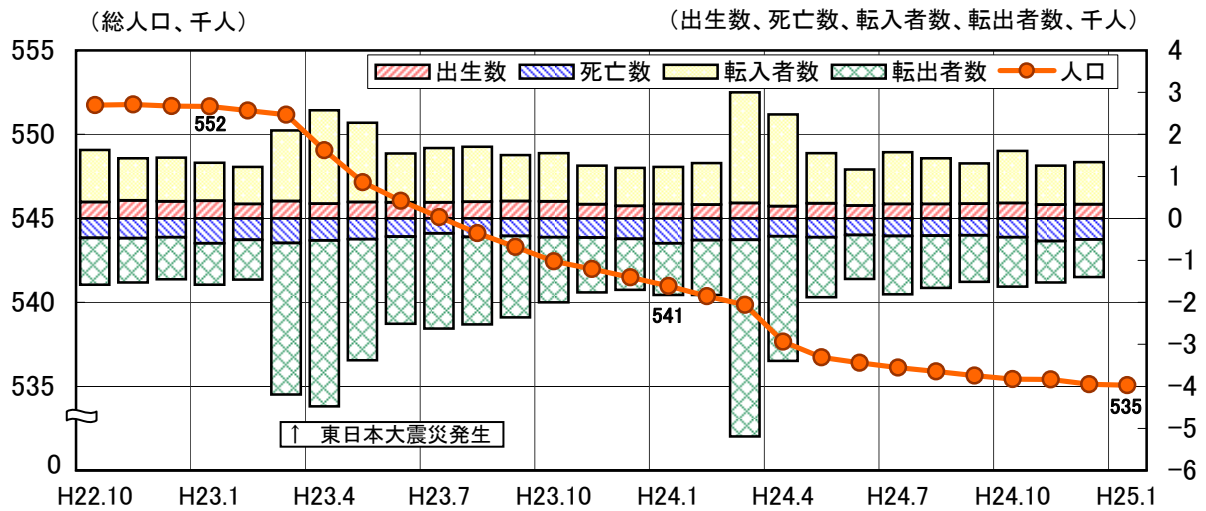


資料: 県統計課「福島県現住人口調査年報」、「福島県の推計人口(福島県現住人口調査結果)」
 ※人口は各月1日現在の人数
 ※出生数、死亡数、転入者数、転出者数は「各月1日から月末までの増減数」

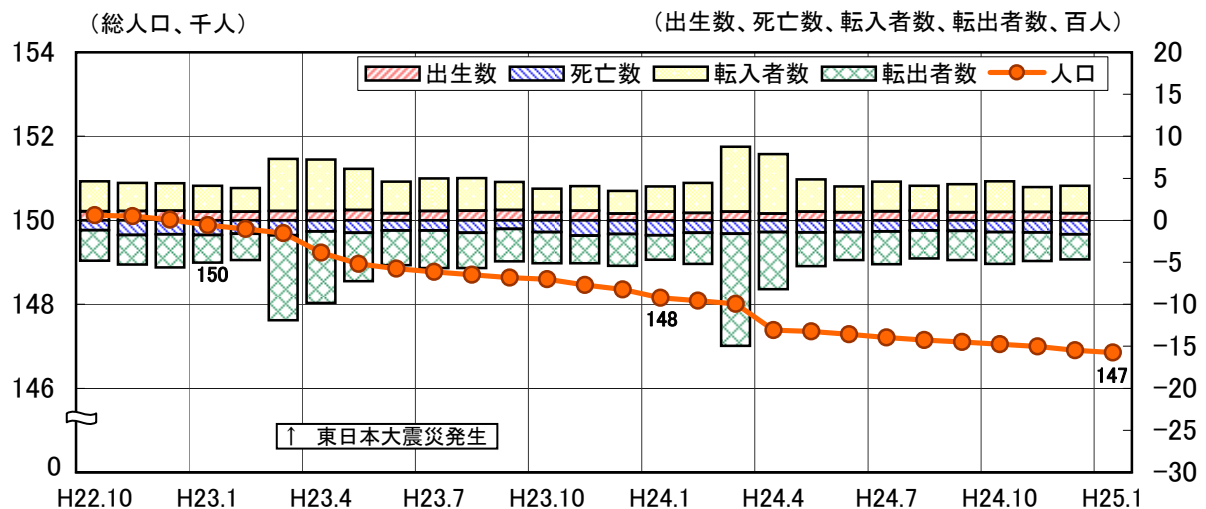
(3-1) 県北の人口(各月1日現在の推移)



(3-2) 県中の人口(各月1日現在の推移)

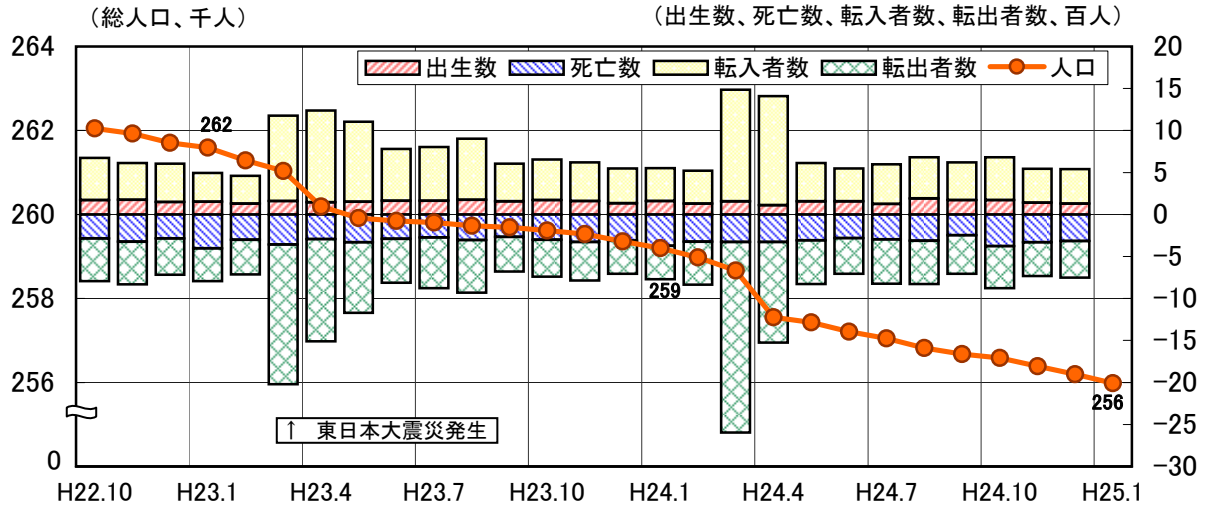


(3-3) 県南の人口(各月1日現在の推移)

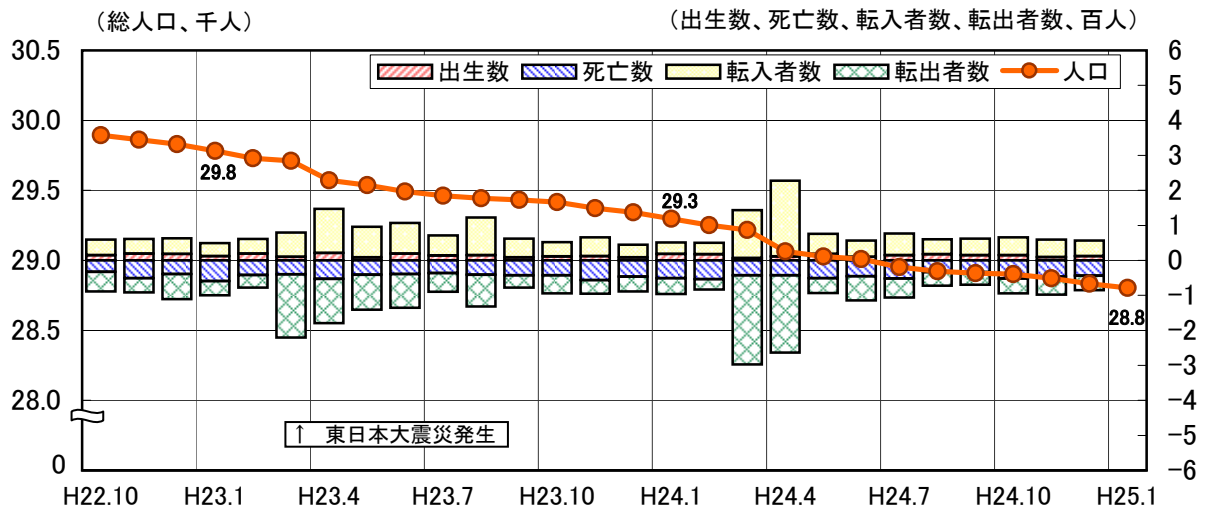


資料: 県統計課「福島県現住人口調査年報」、「福島県の推計人口(福島県現住人口調査結果)」
 ※人口は各月1日現在の人数
 ※出生数、死亡数、転入者数、転出者数は「各月1日から月末までの増減数」
 (県内市町村間の転入・転出を含む)

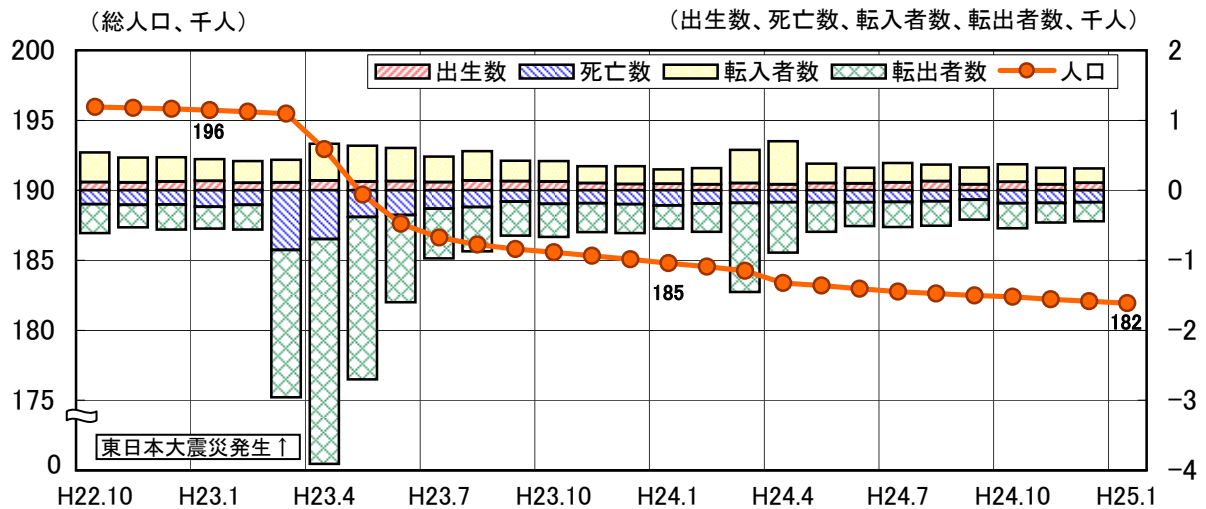
(3-4) 会津の人口(各月1日現在の推移)



(3-5) 南会津の人口(各月1日現在の推移)

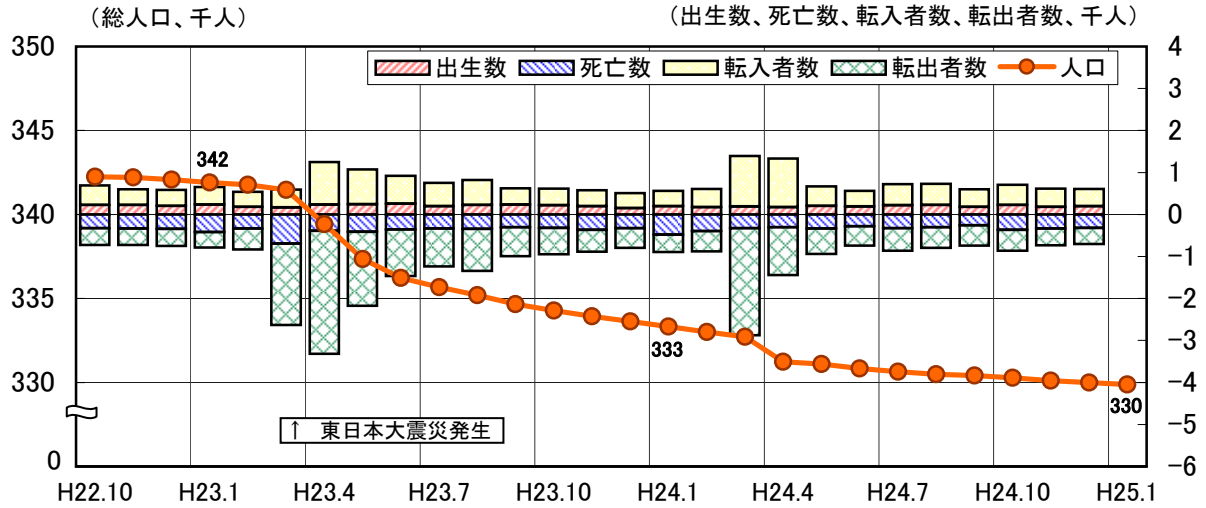


(3-6) 相双の人口(各月1日現在の推移)



資料: 県統計課「福島県現住人口調査年報」、「福島県の推計人口(福島県現住人口調査結果)」
 ※人口は各月1日現在の人数
 ※出生数、死亡数、転入者数、転出者数は「各月1日から月末までの増減数」
 (県内市町村間の転入・転出を含む)

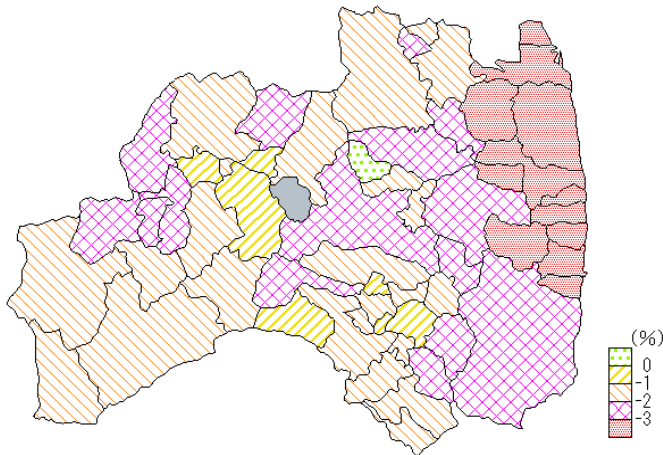
(3-7) いわきの人口(各月1日現在の推移)



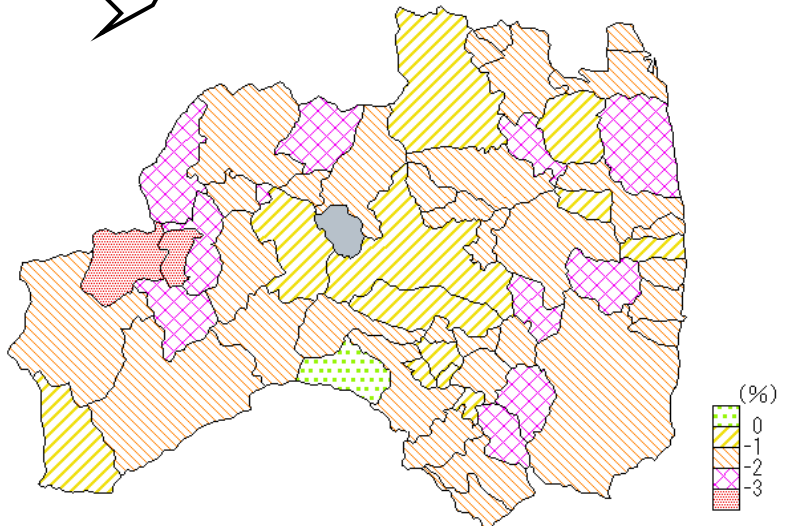
資料: 県統計課「福島県現住人口調査年報」、「福島県の推計人口(福島県現住人口調査結果)」
 ※人口は各月1日現在の人数
 ※出生数、死亡数、転入者数、転出者数は「各月1日から月末までの増減数」
 (県内市町村間の転入・転出を含む)

(3-8) 市町村別人口の増減率

増減率(平成24年1月/平成23年1月)

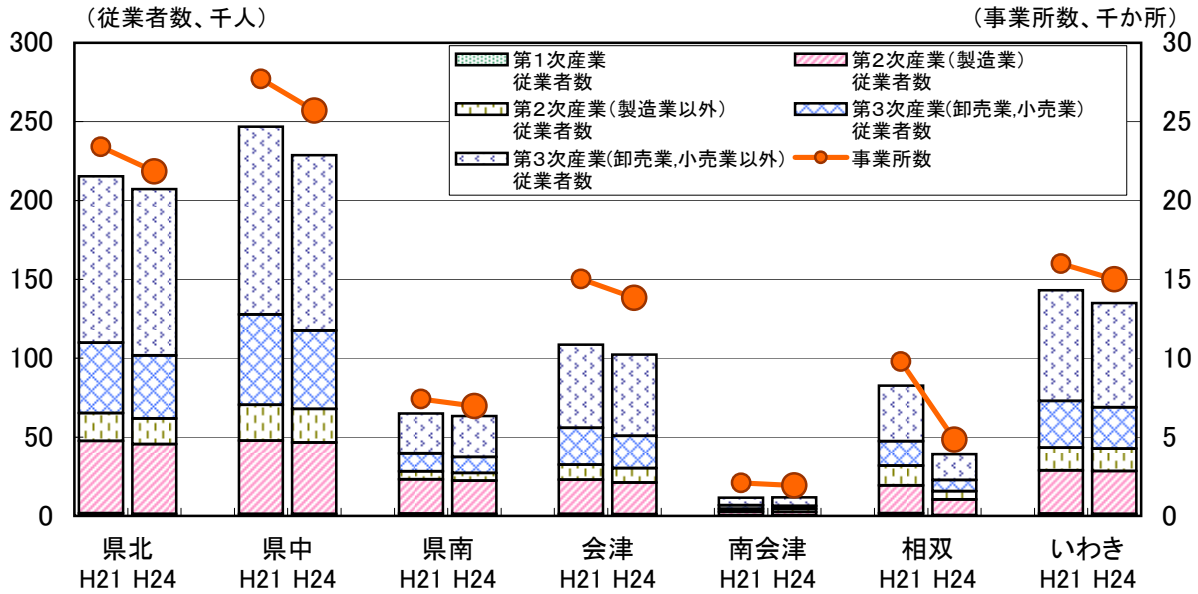


増減率(平成25年1月/平成24年1月)



2 県内の事業所数・従業者数・売上高(経済センサス)

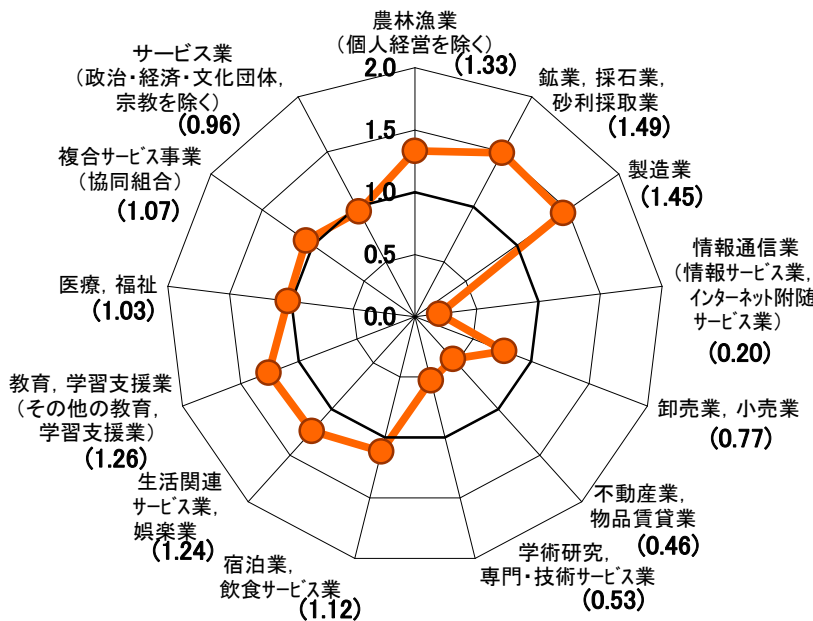
(1) (民営)事業所数・従業者数(平成21年基礎調査、平成24年活動調査)



	事業所数		増加率 (%)	従業者数(人)		増加率 (%)
	H21.7	H24.2		H21.7	H24.2	
県計	101,403	90,082	△11.2	872,919	787,467	△9.8
県北	23,408	21,835	△6.7	215,292	207,279	△3.7
県中	27,701	25,701	△7.2	246,805	228,785	△7.3
県南	7,404	6,966	△5.9	64,954	63,256	△2.6
会津	15,027	13,826	△8.0	108,638	102,274	△5.9
南会津	2,096	1,919	△8.4	11,473	11,679	1.8
相双	9,781	4,840	△50.5	82,700	39,151	△52.7
いわき	15,986	14,995	△6.2	143,057	135,043	△5.6

資料:総務省統計局「経済センサス」
(H21基礎調査、H24活動調査(速報))
 ※H21基礎調査はH21.7.1現在の値
 H24活動調査はH24.2.1現在の値
 ※経済センサスでは、農林水産業のうち
 個人経営であるものは対象外
 ※事業所数は、「事業内容等不詳」を含む
 ※H24活動調査における調査対象外の地域
 ・全域が対象外「榎葉町、富岡町、大熊町、
 双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村」
 ・一部の地域が対象外「田村市、南相馬市、
 川俣町、川内村」

(2) (民営)売上高の全国に占める割合(%)

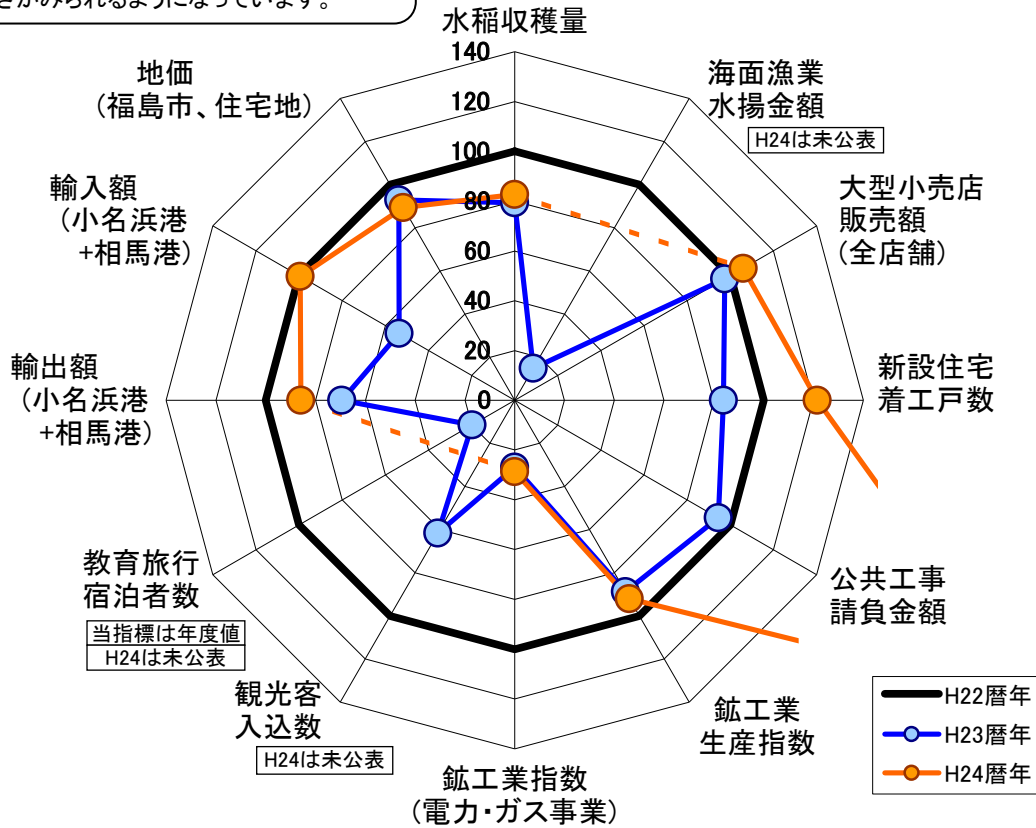


(参考)
 ○人口の全国に占める割合
 1.55%(平成24年1月)
 県人口 1,982,991人
 国人口127,662,214人
 ○県内総生産の全国に占める割合
 1.48%(平成22年度)
 県内総生産 7兆1,263億円
 国内総生産480兆 980億円

資料:総務省統計局「経済センサス H24活動調査(速報)」
 ※カッコ内の数値は売上高の全国に占める割合(%)
 ※ネットワーク型産業(建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、運輸、郵便業、金融、保険業、通信業、放送業など)は事業所単位で経理事項(売上高など)を調査していないため、都道府県別の売上高には当該産業分は表章されていない。

3 県内の経済動向 (H22暦年=100とした値)

平成23年は東日本大震災の影響で、観光関連、農業、漁業、製造業などが大きく落ち込みましたが、平成24年になると、建設業などを中心に復旧・復興の動きがみられるようになっていきます。



経済情勢に関する指標(暦年値 ※教育旅行のみ年度値)

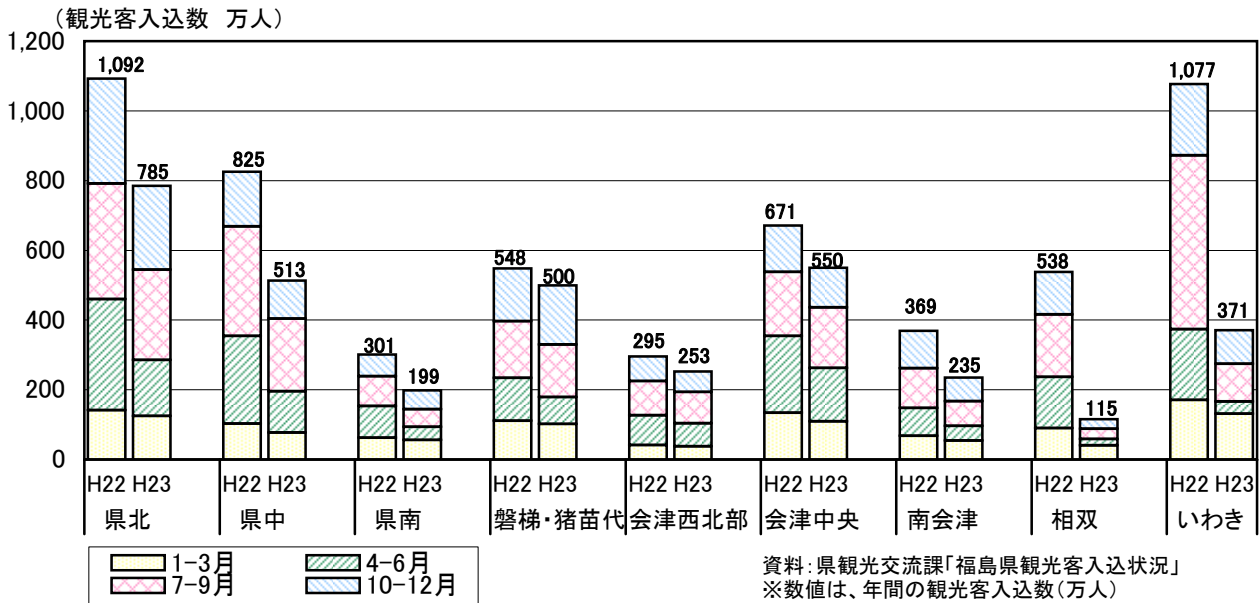
項目	単位	H22暦年	H23暦年	H24暦年	資料
水稲収穫量	トン	445,700	353,600	368,700	農水省「作物統計」
H22=100		100.0	79.3	82.7	
海面漁業水揚金額	百万円	10,959	1,628	未公表	県水産課「福島県海面漁業漁獲高統計」
H22=100		100.0	14.9		
大型小売店販売額(全店舗)	百万円	223,494	217,826	236,871	東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」
H22=100		100.0	97.5	106.0	
新設住宅着工戸数	戸	9,342	7,826	11,353	国土交通省「住宅着工統計」
H22=100		100.0	83.8	121.5	
公共工事請負金額	百万円	202,335	190,885	484,973	東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」
H22=100		100.0	94.3	239.7	
鉱工業生産指数	H17=100	92.4	82.1	85.0	県統計課「福島県鉱工業指数年報、福島県鉱工業指数月報」
H22=100		100.0	88.9	92.0	
鉱工業指数(電力・ガス事業)	H17=100	117.0	31.4	33.6	
H22=100		100.0	26.8	28.7	
観光客入込数	千人	57,179	35,211	未公表	県観光交流課「福島県観光客入込状況」
H22=100		100.0	61.6		
教育旅行 宿泊延べ人数	人	673,912	132,445	未公表	(財)福島県観光物産交流協会「教育旅行入込調査」
H22=100 ※年度値		100.0	19.7		
輸出額(小名浜港+相馬港)	百万円	52,723	36,576	45,275	横浜税関「横浜税関管内貿易概況(H24は「貿易速報」)」
H22=100		100.0	69.4	85.9	
輸入額(小名浜港+相馬港)	百万円	412,051	220,964	409,777	
H22=100		100.0	53.6	99.4	
地価(福島市、住宅地)	円/m ²	41,200	38,300	36,800	県土地・水調整課「地価調査」(基準日は各年7/1)
H22=100		100.0	93.0	89.3	
(参考)地価(会津若松市、住宅地)	円/m ²	41,000	38,800	37,300	
(参考)地価(郡山市、住宅地)	円/m ²	45,000	41,800	40,700	
(参考)地価(いわき市、住宅地)	円/m ²	32,200	29,900	29,000	

※H25年2月末現在の値です(一部、速報値があるため、今後、改定される場合があります。)

4 県内の観光客入込状況

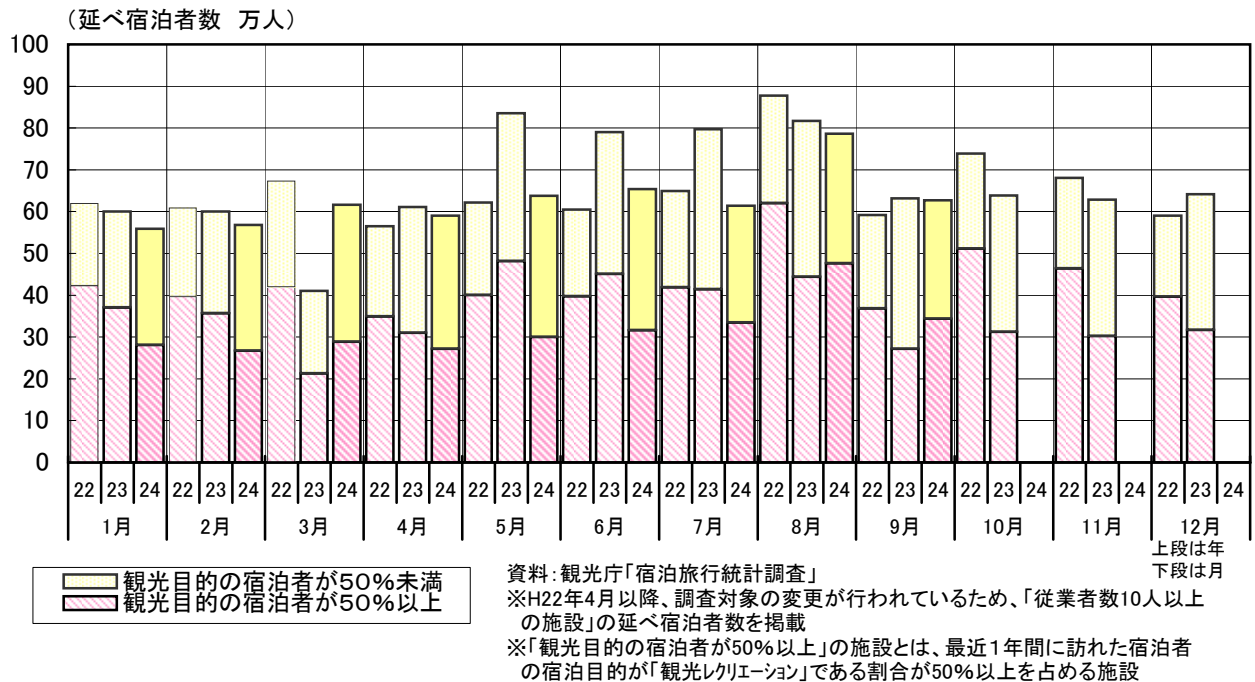
(1) 県内の観光客入込状況

- ・減少率が最も大きい相双地域(△78.6%)は、H22年の入込数が最も多かった松川浦が、H22年の約97万人からH23年は約10万人に減少したほか、Jヴィレッジ(H22=約45万人)などの入込数がゼロだったことが影響しています。
- ・2番目に減少率が大きいいわき地域(△65.6%)は、H22年の入込数が最も多かったいわき・ら・ら・ミュウが、H22年の約217万人からH23年は約47万人に減少したほか、海水浴場の入込数がゼロだったことが影響しています。
- ・中通りでも、入込数が大きく減少した施設や中止になったイベントがあったことから、減少率が大きくなっています。



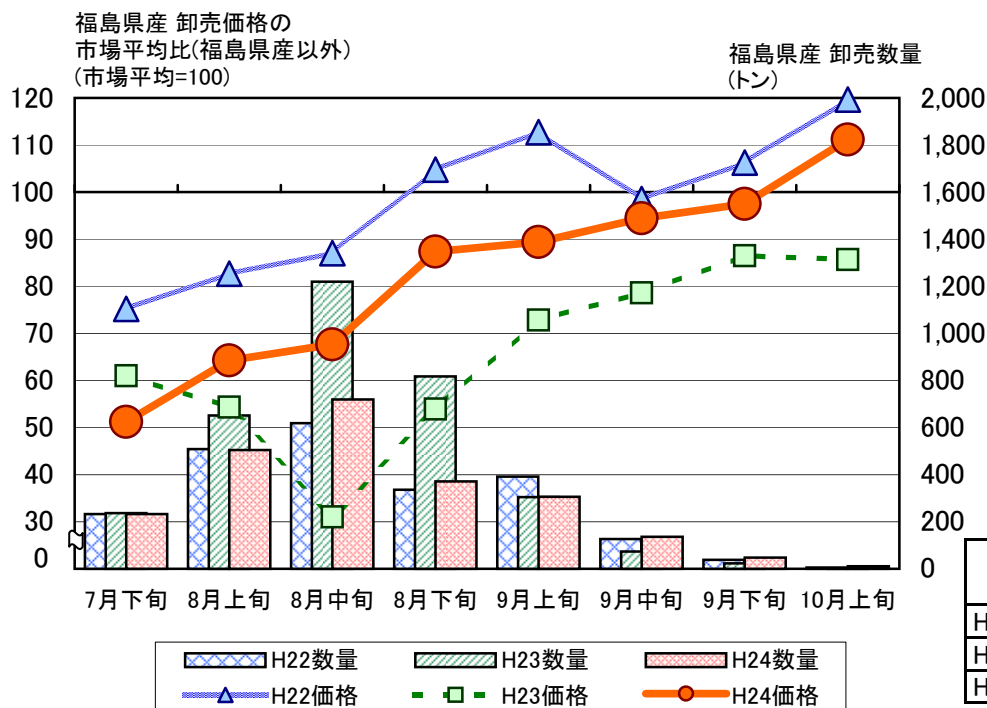
(2) 県内の宿泊者数の現状(従業員数10人以上の施設)

- ・H23年、H24年の宿泊者数は、H22年と比べ、復旧・復興作業等の影響により「観光目的以外の宿泊者が多い施設では増加」し、風評被害の影響により「観光目的の宿泊者が多い施設では減少」しています。
- ・H23年5月から7月は二次避難等の影響により宿泊者数が増加したとみられます。
- ・夏休み期間の8月は、平成23年、平成24年と減少しており、また、紅葉の時期の10月も平成23年は減少しています。

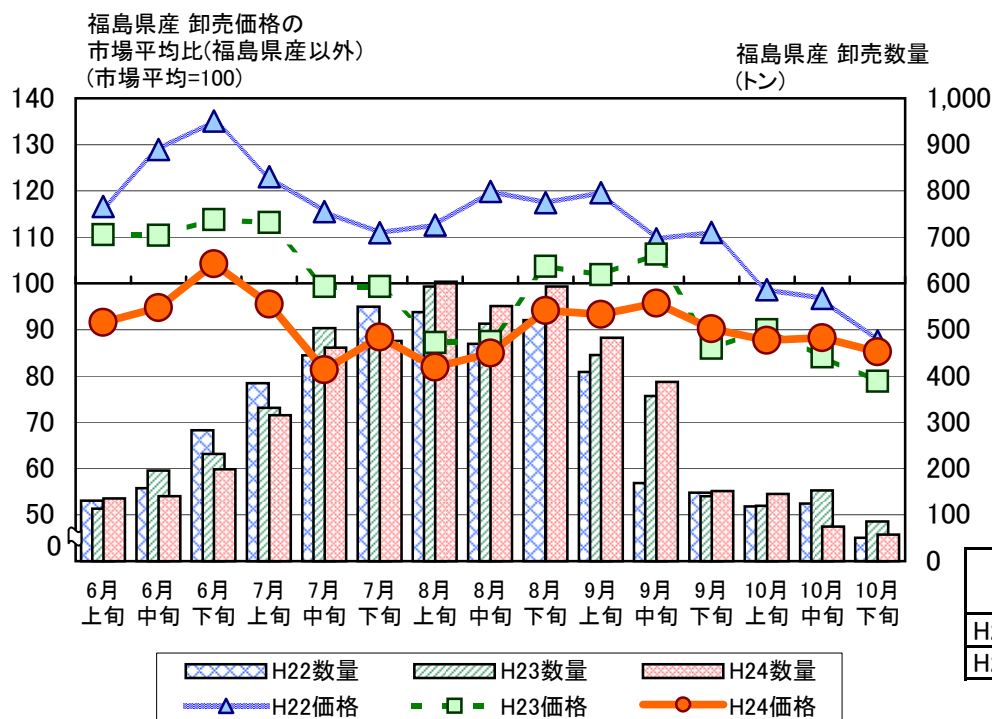


5 県内産の農産物の現状(卸売市場の価格、数量)

(1) もも



(2) きゅうり



(資料)

グラフ(卸売価格、卸売数量)・・・農林水産省「青果物卸売市場調査(旬別結果、東京大田市場)」より作成

※卸売価格の市場平均比(福島県産以外の平均価格)

$$= \frac{(\text{全産地の価格} \times \text{全産地の数量} - \text{福島県産の価格} \times \text{福島県産の数量})}{(\text{全産地の数量} - \text{福島県産の数量})} \times 100$$

※卸売数量=福島県産の数量

表(収穫量)・・・農林水産省「作物統計」